四月一日夕刊

日刊(但シ日曜祭日翌日休刊) 一ヶ月廿五錢 郵稅十五錢 一部二錢
廣告料 一行四十錢 場所指定 二十錢增
發行兼編輯印刷人 中谷政喜
發行所 福島縣平市大町二三 新いわき新聞社

常識講座

ヘンペクドは嬶天下のこと女房の尻に敷かれる細君專制のと云つた類だ、謂所ヘンペックドハズバンドで二本棒の男のことだ、ヘンパーチーは男のまぢらない女のみの一行のことだ

近年稀な廣範圍 小學教員大異動
校長、訓導の任轉約二百名
平市は殆んど無風地帶

恒例の本縣小學校敎員異動は三十一日發令された、平市及び石城郡關係のみでも校長の退職九、同轉任九、訓導から校長に新任されたもの七、訓導(准代用、青年學校を含む)の退休職一六、同任轉百四十餘名に及ぶといふ近年にない廣範圍な異動であつた、尙師範卒業の新敎員は石城郡に三十名、平市に四名が配置された、今回の異動では平市は概して無風狀態で訓導退職一名同任轉六名を算へるのみで校長は四小學校とも動かなかつた、右の中郡下の大校長として知られたる內鄕尋高校長佐藤一氏は一般から惜まるゝを押して職を退きたるものゝ外何れも後進の途を開いた勇退であるが佐藤校長の略歷を上ぐれば

相馬郡福浦村の產、本年五十八才で明治三十六年本縣師範を卒業と同時に川俣、坂下の訓導から新鶴第二校長に榮進後廣野校長を經て河沼、安達兩郡視學に任じ浪江校長より白河第一校長に轉じて白河商業學校長を兼任、次へで平第二校長を歷任、昭和六年三月內鄕尋高校長に轉任、今日に及ぶ在職卅有六年を數ふる本縣敎育界の功勞者で廣野校長時代には知事の表彰を受けてゐる、

尙ほ平第一校訓導を退職した黑木リヨウ女史は

大正十年本縣師範出で卒業と同時に平第一に奉職、引續いて十七ケ年の勤續者で夫君黑木喜一氏は磐崎第二校長から今回本縣社會敎育主事補に拔擢されたので福島市に移り專ら家庭に盡されることになつたもの、更に平第一校からは橫田瀧藏訓導が草野校首席訓導に榮進してゐるが同訓導は

大正十三年の師範卒で石城郡大野校から草野校を經て昭和二年三月平第一に轉じ爾來今日に至る、十三年の同校在職に恪勤精勵の聞え高く今回の草野校首席に拔擢されたものである、

校長異動

磐崎第二 黑木喜一
任社會敎育主事補 學務部社會敎育課勤務

校長新任

新任校	舊任校	
大野第二	磐崎尋高	高濱彙悳
磐崎第二	湯本尋高	木村宗喬
永戶永井	郡山第二	阿部武雄

訓導轉任百五十名(准代用並に青年校を含む)

平第一	白河第三	眞田忠次
〃	福島第一	渡部武
平第二	田村廣瀨	鈴木保
平第三	錦	吉田英子
〃	湯本入山	蛭田ナツ
平第四	保原	千葉正
〃	小高	草野求
〃	好間	鈴木テル子

中三坂	川部	鈴木菊治
双葉刈野	內鄕第三	佐藤淸照
耶麻山鄕	仝	一ノ瀨忠吾

校長轉任

新任校	舊任校	
草野	磐崎	安藤力
內鄕第二	鹿島	遠藤廣亥
磐崎	川部	野木繁彌
川部	大野第二	高崎竹造
小川	刈野	中島陸治
渡戶	桶賣	山崎哲雄
箕輪第一	新田	我妻新吉
桶賣	上伊豆	豬狩忠光
內鄕尋高	內鄕第二	堀一郞

退職校長

內鄕尋高	佐藤一
草野	大平喜一郞
小川	田久德次郞
箕輪第一	渡邊善吉
中三坂	高木德良

訓導退職(准代用並に青年校を含む)

磐崎第一	大平忠一郞
四倉	山田キヨ
勿來尋高	鈴木トク
平第一	黑木リヤウ
小川	山岡利雄
植田	鈴木絢子
小名濱	村田春男
大野	西山榮
內鄕第三	大友春美
磐崎第二	鈴木彥衞
田人	鈴木美津
大野	篠原英雄
入遠野	佐藤信行
大浦	田仲ハル
渡戶	庄司フミ
神谷	永山ソヨ

泉	梁川	村上ミサヲ
渡邊	飯野	森ステ
植田	松川	齋藤一夫
〃	平第二	渡邊啓二
〃	內鄕第二	小林錄郞
〃	河沼堂島	久和武夫
錦	双葉大野	渡邊信一
〃	淺川	齋藤ハル
〃	高久	江坂秀雄
〃	磐サキ	松房政之
山田	〃第一	北原淸
〃	平第三	北原智江子
勿來	上川崎	齋藤榮三
〃	山田	荒川シン
〃	〃	七島幸助
上遠野	入遠野	稻葉キクヨ
〃	移	草野柳太郞
〃	神谷	矢代サト
入遠野	平第三	矢代常好
川部	好間尋高	永山丈夫
〃	入遠野	荻生田智雄
田人	西方	矢內トミノ
〃	植田	小宅德
〃	合戶	鈴木朝世
飯野	上大越	岩崎ミヨ
〃	渡邊	松田トヨ
夏井	箕輪第一	小玉ウラ子
高久	鬼生田	米本恒久
〃	湯本	齋藤恭藏
豊間	江名	根本ハツノ
〃	小川	菅野修二
江名	田人	平尾正隆
〃	高久	鈴木イタ
〃	豊間	江尻洋吉
〃	澤渡	小濱常司
小名濱	富野	村上紘治
磐崎尋高	錦	礎上健
〃第一	苅野	志賀エサノ
〃	山田	高木愛治
〃	田人	齋藤貢
〃第二	入遠野	佐藤金一
〃	內鄕第二	助川晴子
湯本尋高	上遠野	吉田かつ
〃	川崎	佐藤靜
〃	磐崎第二	高木ツルヨ
〃	大野	吉田正德
〃	好間尋高	眞壁仁
湯本入山	平第三	天川フミ
〃	永井	江尻要
內鄕尋高	赤井第二	班目喜義

〃	田人	佐藤淸義
〃	野澤	國分チイ
內鄕第一	富岡	上原博
內鄕第二	日和田	岡崎幸
〃	〃尋高	大友ハナ
〃	草野	根本益材
〃	赤井第一	廣川登志雄
內鄕第三	新町	上遠野懸
〃	夏井	佐藤淳
〃	飯野	鈴木秀子
好間尋高	原町	安井九助
〃	飯豊	菊地ユキエ
〃	川內	塙義男
〃	赤井第二	八代モト
〃	平第四	齋藤等
〃	湯本	松崎昌左
赤井第一	仁井田	穗積怜
〃	小川	鈴木ミチヨ
赤井第二	近津	下重寅男
〃	仁井田	穗積フク
渡戶	川內	佐々木喜久江
合戶	下中津川	門井保
神谷	大浦	高信シン
〃	川部	渡邊幸子
草野	內鄕第二	芳賀正義
〃	平第一	橫田瀧藏
大浦	夏井	荒川節子
〃	磯部	池田巖
〃	內鄕第三	五十嵐フデ
四倉	熊町	東田藤雄
〃	草野	柳井七郞
大野	豊間	鈴木次
小川	赤井第一	吉田ハルノ
澤渡	守山	佐藤信夫
泉	駒形	遠藤淑
渡邊	眞野	八卷陽太郞
山田	渡戶	齋藤榮
田人	西方	矢內道隆
磐崎	渡邊	森大應
好間尋高	月輪	原弘
赤井第一	蘆澤	小川繁雄
永井	高久	國井新三郞
澤渡	中三坂	佐藤德一

楢葉	草野	中野監次
內鄕第三	箕輪	庄條八右衛門
差鹽	夏井	中丸莊一郞
大野第二	豊間	矢吹トキ子
夏井	神谷	長瀨耕平
上遠野	夏井	佐々木ソノ
神谷	大浦	植松貞雄
川前	中三坂	小野重一
入遠野	逢田	石橋亘
磐崎	熊町	中村敬二
赤井第二	北戶澤	加藤利明
大浦	同訓	鈴木公正
中三坂	澤渡	先サキ林
菊多	淸水	古市貢
內鄕家政	渡邊	佐山志計
上遠野	瀧田	鈴木サツ
小川	高城	新妻キノエ
渡邊		山崎末代
磐サキ	內鄕家政	岩並ミヨ
上遠野	大浦	鈴木チヨ

戰地の便 敵前上陸の勇士の犠牲に深き默禱を (3)

平市舊城跡出身 伊藤貞衛

此所は敵地、眠れる如き江上には凄慘極まりなき探照燈の閃めく交叉、折柄そぼ降る雨をすかして見れば同じ任務の御用船〇〇艘がズラリと並んでゐる、左手にかすかに見える地平線、あれがウースン砲台、その邊り皇軍が敵前上陸を敢行し數多の勇士が護國の鬼と化したる地と聞き、深き默禱を捧げました、同所に碇泊すること〇日、〇〇月〇〇日午前十時半上海〇〇〇頭に上陸しました、上陸の第一歩、黃浦江岸に見る敵の立射散兵壕、數知れず壕ある所に敵兵の屍がある、彈丸の空は山を爲し、壯大なる建物は悉く木葉微塵に打ち碎かれてありました、

此の狀景に皇軍の苦戰の程も偲ばれて自然と頭が下るのでした、午後五時同所を出發、蔣介石自慢の軍工路を進軍、その夜の八時過ぎ驟雨を衝いて上海揚樹浦に到着、崩れ殘りし愼昌紡績工場に宿營することになりました、此處は飯を炊くにも薪木がなく紡座を燃べて飯を炊き背嚢を枕に戰塵第一夜の夢を結びました、コンクリートの土間から冷えて來る寒さ、上から雨が落ちてびしよ濡れ、それも其の筈屋根が半分ありませんしばしのまどろみも忽ち破れて慄え上つて起きては見たが火を焚くさへも一仕事

御誂ひも既製品も
㊢ 高島屋洋服店 平二 電三八六

萬年筆……と シャープペンシル……は
今すぐに 万年筆の十四金ペンは金の統制で十二金ペンに低下されました、その上万年筆とシャープペンシルは四月一日から課税される事になるでせう。
この際!この時〃當店は
パイロット萬年筆の十四金ペン付手持品全部を皆樣に解放して十四金ペンの書き味をおすゝめいたします
㊋マルトモ 柴田書店(平市四丁目 電話二三四番)

國民精神總動員 簡保の報國運動
本年度は更に擴大の方針 【1】

遞信省では國民精神總動員運動に即應して本年一月から全國的に簡易保險報國運動を開始して居ることは既報の通りだが時局柄、國民大衆の理解ある支持を得前年同期に比し全國を通じて約七割方加入申込の激增を示したとのことである、隨つて契約高も增加の一途を辿り現在簡易保險は二千八百萬件、その保險金額は四十二億圓で昨年三月から六億圓を增加した、郵便年金は四十万件その年金額は三千二百余萬圓で二百萬圓を增加すると云ふ盛況振りで諸外國にも其の類例がないと各方面驚異の的となつてゐる。

日本の簡易保險、郵便年金事業が斯くも著しい飛躍を遂げて居るのは、制度自体がよく國民大衆の利用に適して居ることと其の積立金が低利で各種の社會公共事業に放資せられ、地方の振興に寄與し又多數の健康相談所を設置する外山間地には巡回健康相談を施行して、加入者の健康增進を圖るなど、國民生活の安定と社會福祉增進とに貢献して居る爲だと云はれて居る、試みに其の事業の活動狀況を調べて見ると、最近一年間に簡易保險が支拂つて居る保險金は七千九百萬圓であり、東北六縣だけでも五百五十萬圓を突破してゐる。

× × ×

産業方面

除蘗莖移植で馬鈴薯栽培

一反歩當り五百七十五貫を收穫

本縣石城郡神谷村の縣農試分場の矢ケ崎技手は多年馬鈴薯の栽培指導に當り除蘗莖利用の栽培を研究中であつたが昨年五月馬鈴薯男爵試驗畑から不用物として掻きとつた蘗莖を直ちに他の試驗畑に移植し窒素、燐酸、加里、堆肥、人糞尿、大豆粕、過燐酸、木灰石灰の各肥料を適當に按分して施肥したところ見事に成育し同年八月中旬採收の結果一反歩當り大薯四百十貫二百匁中薯百二貫、小薯六十三貫二百匁、合計五百七十五貫四百匁を收穫する大成功を收めた除蘗莖を利用して斯くの如き好成績を得たことは殆んど類例のないことであり、此の結果は無水アルコール製造による燃料國策遂行上に且つまた馬鈴薯增産に大なる貢狀だと云はれ各方面に意外なセンセーションを捲き起してゐるが矢ケ崎技手は語る、

除蘗莖百六本を本畑に定植して試作したところ途中病害虫の爲め枯死したものが僅か二本、殘る百四本は見事に活着結實し一反歩當り五百貫餘の收穫があつたのには自分も意外でした、馬鈴薯の需要は在らゆる方面に激增してゐる際とて桑園その他の間作にこの除蘗莖を利用する栽培をなせば薯の增産は疑ひがない、しかも種薯の節約等から見て農家の經濟にも相當の潤ひが得られることであらう(完)

スペインG・H・N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒　1・20
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平2)　西村屋藥舖　(電3)

牛も豚も優良品の自慢
肉の御用命は　三三三屋　平市田町

藤沼醫院
平市紺屋町　電五〇七

診療科目
一、歯科一般
保存科、補綴科、繼歯架工科、歯列矯正科、小兒歯科、歯槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町(松月堂向ひ)　中野歯科醫院
院長　日本歯科醫學士　中野恵次
日本歯科醫學士　西川誠
電話五〇九番

專門
皮膚科
泌尿器科
性病科
診療時間　午前八時より午後九時まで
醫學博士　江尻伊三郎
平市田町　電話六九一番
江尻醫院

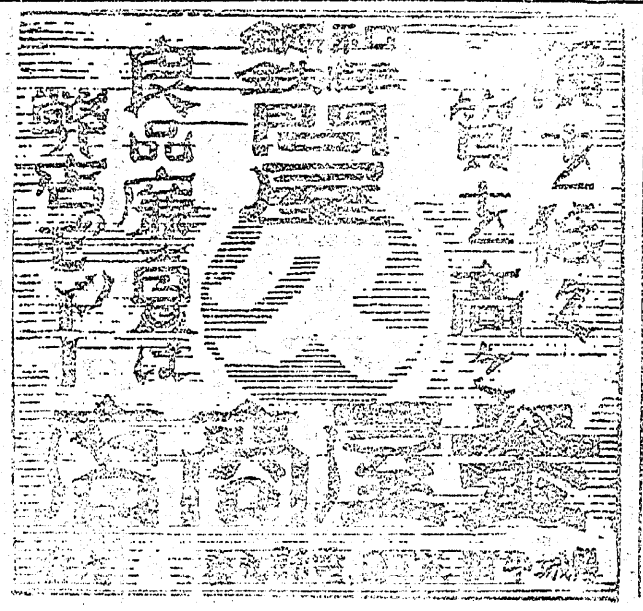
病室增築、手術室完備
産科　婦人科　醫學博士　五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

産科　婦人科　院長　木村寅次郎
外科　醫學博士　内木宗八
藥局　藥劑師　大岩俊雄
平市新川町九一
入院隨意　病室完備
木村病院
電話一六四番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町　電話五一三番
高久病院
院長　醫學士　高久忠

三十三回　生徒募集
非常時日本の女性に！
婦人の職業として…家庭の衛生學として産婆看護婦――をお奬め致します……それには成績の最もよいと定評ある、
平市南町　産婆看護婦學校へ
◎申込みは成るべく早く
◎新學期の開始は四月八日より
平産婆看護婦學校
校長　清野キヨ
電話三〇七番

和洋鋼鉄
問屋
良品廉價



大河内
平市搔搥小路
整形外科醫院
電話五八八番

根本産科婦人科醫院
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
(入院隨時)
電話三四番

今般副院長として高橋俊幸氏を招聘し「内臓外科・一般外科・皮膚泌尿器科」の診療に從事せしむ
平病院(平市元共濟病院跡　電話六四一番)
院主　院長　醫學博士　鈴木定藏
内科　院長　鈴木定藏
小兒科　部長　佐藤幾要司
内臓外科　一般外科　皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸
レントゲン科　部長　鈴木定藏
物理的療法科　古川元雄
藥劑科　部長　吉本孝平
診療時間　毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す(急患は此の限にあらず)

ドーレパンオ品洋の春
現代の粋を集めたスプリング・ショール
殿方趣味百%のアウテイング・シャツとネクタイ
斷然ニュースタイル!!
中折帽子
鳥打〃〃
可愛らしいお子様方の新流行の
子供帽子と春の子供洋服
平　四〇四一　電
ヤルツ